

# 岡山醫學會彙報

## 岡山醫學會通常會

同會は本月二十五日午後三時より岡山醫學專門學校に於て開會す藤田庶務主幹開會を報じ直ちに左の演說に移る

### 第一席 小兒赤痢療法卑見

梶谷 尙君

近來赤痢療法として灌腸及收斂劑の濫用の傾向あり。演者は昨年來岡山縣病院小兒科に於て赤痢患者に毫も灌腸、收斂劑を用ゐずして而も從來の療法に比して遜色を認めずして却て大に經過を短縮し好果を納めたるを例證を掲げ是れが推賞を促せり。(自抄)

### 第二席 「ヂフテリー」後軟口蓋麻痺ニ對スル

食鹽水注射療法ニ就キテ

笠井 經夫君

昨年五月以後岡山縣病院耳鼻咽喉科に於て遭遇せる實扶的里或は實扶的里と想像される疾患後に發來せる軟口

蓋麻痺の六症例に生理的食鹽水の注射を局所に試み好結果を得たれば之を簡單に報告せり。(自抄)

### 第三席 「アシドーシス」ニ就キテ

器械供覽

西川 義英君

「アシドーシス」の外科に於ける意義を論じ診斷及治療に及ぶ(自抄)

### 第四席 口蓋扁桃全摘出ニ就テ

附咽頭内ニ現ハレタル莖乳突起ノ示說

醫學博士 田中文男君

口蓋扁桃の慢性肥大に對する現今の療法を比較し、或る場合には一部切除にて足れるも其他は全摘出を要すとなし、全摘出の適應症を擧げ、演者が目下賞用しつつある摘出法を略述し、且此目的に向つて述者の考案せる缺を供覽せり。

次に十九歳の男子に就て口蓋扁桃全摘出後兩側扁桃腺竇部に其下方迄達せる莖乳突起の延長せるものあるを發見したる例を述べ且其切除せる標本を示說せり。(自抄) 右終りて閉會したるは午後五時なり。